

-児童養護施設学習支援市民協働モデル事業-

平成 29 度第 2 回学習支援講師のための研修会が行われました。

(11 月 22 日 横須賀市立総合福祉会館にて)

今回は東洋太平洋ライト級王座など数々のタイトルを獲得された元プロボクサーの坂本博之氏に講師をお願いし、「僕は運命を信じない」と題してお話いただきました。

幼少時に虐待を受け、児童養護施設で過ごす中で初めてテレビで見たボクシングに魅了され、プロボクサーになるまでの努力の道のりを情熱を込めてお話してくださいました。

児童養護施設での生活がいかに自分の人生の中で大切な役割を果たしたかということ、また施設の子供達に励まされて今の自分があることなどを話されました。夢を持つことの大切さ、根気を持って突き進んでいくこと、運命は変えることができる、ということを実体験から熱く語ってくださいました。

「児童養護施設は命を繋いでくれた所」という思いから、現在は養護施設で生活する子供達を支援するために「こころの青空基金」の主宰として活躍され、講演活動などをされています。

今回の参加者は学習支援講師だけでなく、日頃施設と関わる機会の少ない民生委員の方々も多く参加されましたが、坂本氏のお話で施設に対する理解が深まったのではないかと、思います。

学習支援講師など施設関係者からは「施設の子供達との関わり方のヒントになった」という声が多く寄せられました。

「傷つけるのも大人、それを助けるのも大人」という坂本氏の言葉が印象的でした。

